

総論：新たな分業・補完体制に向かうASEAN自動車部品産業、多様性を活かした生産拠点に発展

- ▽事業環境：経済格差が拡大、国際競争力の向上が命題
- ▽自動車産業：現地化促進策が拡大、保護主義の色合いも
- ▽環境・安全：電動車生産拡大へ、NCAPは試験項目を拡充
- ▽FTA：インドネシアはCEPA交渉推進、EVFTA発効が視野

第1章 ASEAN各国の自動車・部品産業の概況

1. タイ：電動車の現地生産プロジェクトが本格始動、自動車生産は200万台水準に
▽タイ自動車部品産業：電動車コンポーネントの現地化始動
2. インドネシア：完成車の輸出拠点化が進行、2019年以降にEV政策を導入へ
▽インドネシア自動車部品産業：LCGCに続く現地化策が欠如
3. マレーシア：2019年にNAPの改訂版を発表へ、CASE重視の成長戦略に移行
▽マレーシア自動車部品産業：中国系と地場系が提携推進
4. フィリピン：CARS政策とEco PUVを軸に増産へ、2027年の生産目標を100万台に設定
▽フィリピン自動車部品産業：CARS政策で現地化に弾み
5. ベトナム：政令116号で現地生産強化に誘導、VinFastの新工場対応で欧米系が存在感
▽ベトナム自動車部品産業：VinFast対応投資が進行
6. CLM：「タイ+1」などのサテライト拠点設置が緩やかに進展、内需成長が見込まれるミャンマーへの進出が増加
▽カンボジア自動車部品産業：Phnom Penh/Poipetが集積地
▽ラオス自動車部品産業：トヨタ紡織などが進出
▽ミャンマー自動車部品産業：Thilawa工業団地に進出増加

第2章 主要自動車メーカーのASEANにおける生産・調達事業

1. トヨタ：タイで電動車生産を本格化、ASEAN域内の生産・分業体制が新たな段階に
2. ダイハツ：SSCコンセプト導入を推進、2020年代前半にトヨタとの協業の次世代モデルを投入
3. ホンダ：タイとマレーシアでHEV生産に本腰、インドネシアから第2世代Brioを輸出開始
4. 三菱自：ASEAN 3極生産体制が本格始動、インドネシアXpanderで日産との協業拡大
5. 日産：ASEANでの工場稼働率が30%程度と低迷、三菱自との製品分野の提携拡大へ
6. スズキ：ASEAN域内での地産地消を推進、ミャンマーでは2018年に新工場を稼働
7. マツダ：タイで変速機・エンジンを含む一貫生産体制を強化、ベトナムではThacoが新工場稼働
8. いすゞ：タイにLCVと新興国向けCVの開発機能を集約、インドネシアでは軽量トラックTragaを量産
9. 日野：タイ・インドネシアの二極が中核拠点、タイでは2021年に生産・開発の複合拠点を稼働
10. 三菱ふそう：インドネシアでは新型Fighterなど増産、タイでは2019年に新工場を稼働予定
11. UDトラックス：タイで新興国向けトラックの集中生産を拡大、マレーシアでCronerを組立開始
12. Proton：Tanjung Malim工場に12億リンギ投資、X70の現地生産に向け中国系サプライヤーと取引拡大へ
13. GM：ASEAN事業の整理・縮小が進行、タイの1トンピックアップ事業にリソースを集約
14. Ford：タイでの乗用車生産を2018年に終了、ASEANではピックアップ事業に経営資源を集約
15. Mercedes-Benz：タイでPHEVと車載電池に1億ユーロ投資、EVの現地組立も視野
16. BMW：タイとマレーシアでPHEVの現地組立を推進、車載電池やエンジンの現地化にも注力
17. 現代自グループ：ベトナムでCKD生産が本格化、インドネシアで20万台の工場建設を計画
18. 上海汽車：タイとインドネシアで量産体制を構築、稼働率向上と現地調達推進が課題

第3章 主要自動車部品メーカーのASEAN事業

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 愛三工業 | アイシングループ |
| 曙ブレーキ工業 | アルプスアルパイン |
| 市光工業 | エイチワン |
| AGC | エクセディ |
| NOKグループ | NTN |
| エフ・シー・シー | エフテック |
| 河西工業 | カルソニックカンセイ |
| ケーヒン | KYB |
| 小糸製作所 | サンデン |
| ジーテクト | ジェイテクトグループ |
| ジャヤトコ | ショーワ |
| 新電元工業 | スタンレー電気 |
| 住友ゴム工業 | 住友電工/住友電装 |
| 住友理工 | 大豊工業 |
| タチエス | ダイヤモンド電機 |
| 中央精機 | 椿本チエイン |
| ティ・エス テック | TPR |
| デンソーグループ | 東海理化 |
| TOYO TIRE | トビー工業 |
| 豊田合成 | 豊田自動織機 |
| 豊田鉄工 | トヨタ紡織 |
| 日信工業 | 日清紡グループ |
| ニッパツ | ニフコ |
| 日本ガイシ | 日本精機 |
| 日本精工 | 日本ピストンリング |
| 日本特殊陶業 | パイオニア |
| パイオラックス | ハイレックスコーポレーション |
| パナソニック | 日立オートモティブシステムズ |
| 日立化成 | 日立金属 |
| フコク | フタバ産業 |
| ブリヂストン | 古河電気工業 |
| プレス工業 | 三井金属/三井金属アクト |
| ミツバ | 三菱電機 |
| 武蔵精密工業 | 矢崎総業 |
| 八千代工業 | ユタカ技研 |
| ユニプレス | 横浜ゴム |
| ヨロズ | Autoliv |
| Autoneum | Bosch |
| Continental | Faurecia/クラリオン |
| Freudenberg | Gestamp |
| Grupo Antolin | Lear |
| Mahle | Mann+Hummel |
| Michelin | Saint-Gobain |
| Schaeffler | Tenneco |
| Visteon | ZFグループ |
| AAPICO Hitech | Astra Otopartsグループ |
| Delloydグループ | DRB Hicomグループ |
| Indomobilグループ | Ingressグループ |
| Siam Motorsグループ | Somboonグループ |
| Thai Summitグループ | UMWグループ |
| VSOグループ | |

付属CD収録内容

- タイ・インドネシア：四輪車（生産、販売、輸出、保有）
- 二輪車（生産、販売、輸出、保有）
- マレーシア・フィリピン：四輪車（生産、販売、保有）
- ベトナム・ミャンマー：四輪車（生産、販売）

好評販売中

2019

ASEAN自動車部品産業

国内と輸出用でASEAN各国の部品生産が拡大



- ◇タイで電動車生産投資奨励策がけん引し電動車部品の生産拡大!!
- ◇フィリピン・ベトナムで自動車部品の輸出拠点化の動き!!
- ◇主要自動車メーカー18社のASEAN生産・調達・供給戦略を報告!!
- ◇日系・欧米系・地場系部品メーカー101社のASEAN事業戦略を分析!!
- ◇ASEAN主要国のモデル別自動車生産・輸出・販売統計をCDに収録!!

■ 発刊：2019年6月28日 ■ 体裁：A4判、292頁+CD ■ 価格：160,000円+税、国内送料込

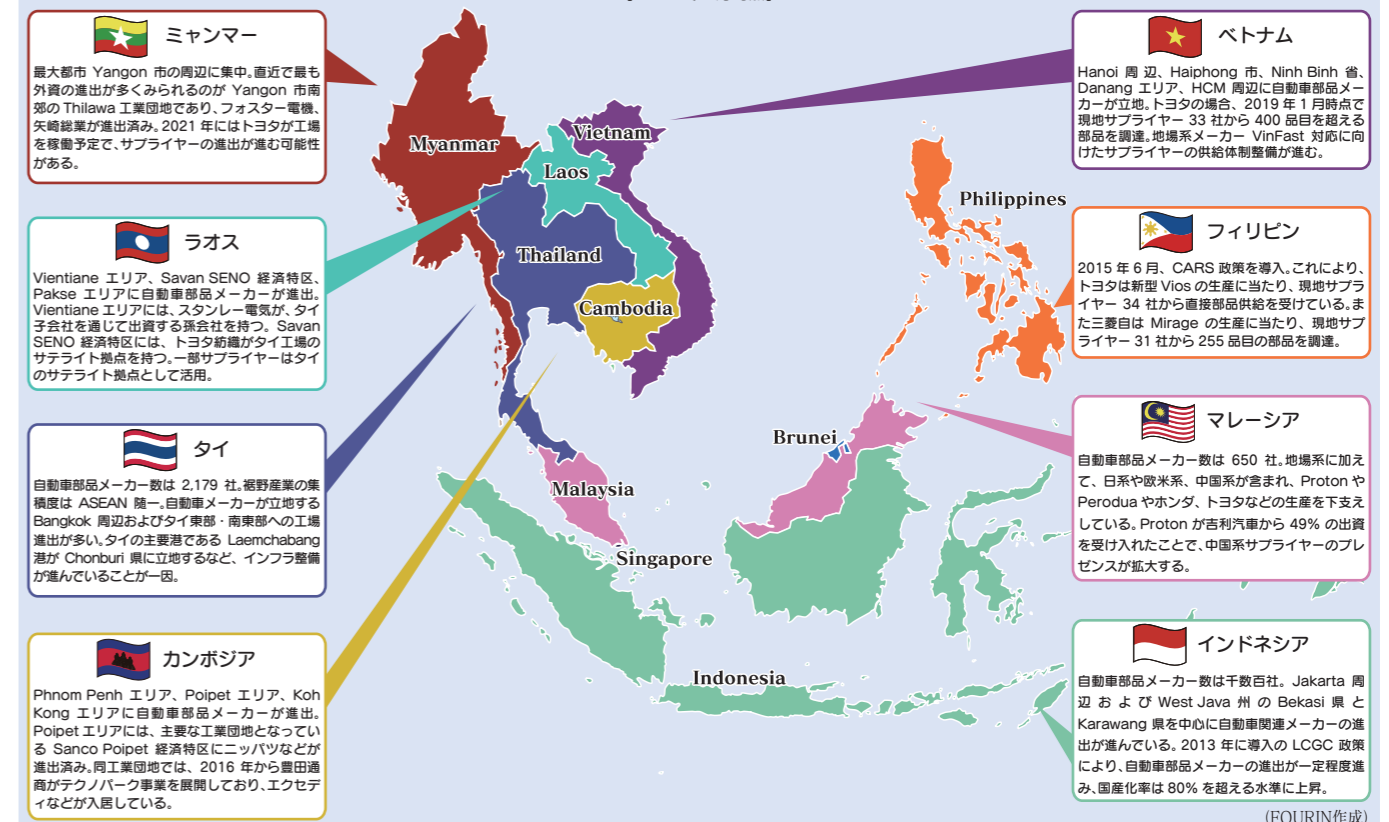
ASEANでは、2018年に域内生産台数が437万台となり、2020年に450万台を超えることも現実味を帯びてきました。最近5年間に亘った自動車需要の縮小・停滞の時期からの脱却がみえてきました。また、タイでは次世代自動車産業育成を目的とした電動車生産投資奨励策を導入。インドネシアやマレーシアもこれに追随する政策を打ち出すと考えられます。

2016年発効のParis協定に沿うように、ASEAN各国では排ガス規制強化の動きも進行しています。現状ではEuro4基準が主流となっておりますが、タイやインドネシアなどでは、2020年代前半にかけてEuro5への移行の道筋が示されております。こうした中で、自動車部品メーカーも各国の規制強化に向け、設備投資増強などの対応が必須になってきます。

『ASEAN自動車部品産業2019』は、ASEAN地域の自動車部品産業を分析する特別調査レポートで、ASEAN主要8カ国の自動車産業構造や産業政策、自動車メーカー18社、自動車部品メーカー101社の域内事業展開を盛り込みました。本案内書をご高覧の上、ぜひご採用いただき、貴社のASEAN事業戦略の策定にご活用いただければ幸いです。

ASEAN各国、自動車部品産業の最近の動向

【2019年6月時点】



(FOURIN作成)



その他の見本ページも弊社ホームページでご覧頂けます

ASEAN主要国の自動車生産促進政策を掲載!!

比率を引き上げは至らぬ一方で、タイ EEC Car 政策、インドネシア LCGC 政策、フィリピン CARs 政策等は、それぞれ各製品の現地に関する要件が設けられている。ASEAN 各国における主力車種の生産促進策をみると、

【ASEAN 主要自動車生産促進政策の概要】

Table with 4 columns: Country (タイ, インドネシア, マレーシア, フィリピン), Policy Name (EEC Car, LCGC, etc.), Policy Content, and Status.

部品産業に影響のあるASEAN自由貿易協定を報告!!

VFTA インドネシアは CEPA 交渉推進, EVFTA 交渉が視野にある。ASEAN では、貿易自由化に向けた動きが相次いでいる。ASEAN 全体による広域協定の実現を目指す動きもあがり、各国が適宜海外市場へのアクセスを確保しようとしている。

【ASEAN 主要自由貿易協定の概要(2019年3月時点)】

Table with 4 columns: Agreement Name (ASEAN, AFTA, RCEP, etc.), Status, and Key Details.

ASEAN主要国の自動車部品産業の近況!!

2019年までに生産開始している、最長10年間の法人投資を含む投資意思を背景に、ASEAN 地域における自動車生産への地位を確保したいと、新工場建設や投資強化の動きが投資家が中心で、新工場建設といった大型の投資案件が相次いでいる。

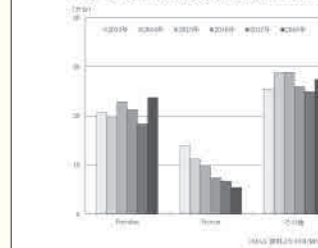
【タイ、自動車産業関連インフラの状況(2019年現在)】

Map of Thailand showing industrial zones and infrastructure. Includes text boxes for '主要工業団地', '主要産業集積地', and 'タイの自動車部品産業'.

ASEAN主要国の自動車部品産業の近況!!

マレーシア自動車部品産業、中国系と地場系が競争激化。マレーシアでは、国民車メーカー Proton が自国産車 (Geely) から 49% の出資を受け入れたことで、自動車部品産業分野でも中国サプライヤーとの協力が始まった。

【マレーシア、メーカー別自動車生産台数の推移(2010~2018年)】



【マレーシア、自動車部品産出額の推移(2010年現在)】



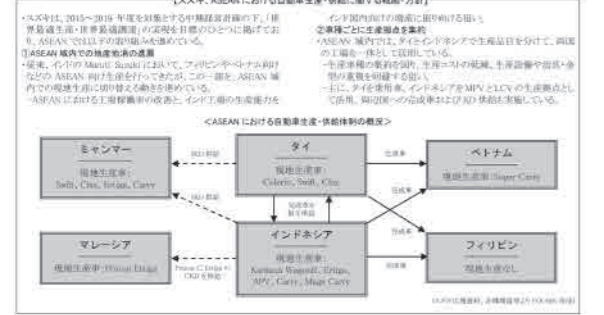
Table with 4 columns: Year, Domestic Production, Total Production, and Exports.

主要自動車メーカーの生産・部品調達活動!!

6. スズキ：ASEAN 域内での地産地消を推進、ミャンマーでは2018年に新工場稼働

スズキは、タイとインドネシアの分業体制を軸に、ASEAN 域内での「地産地消」の供給体制を構築している。主に、タイでは Swift や Celero などの乗用車を、インドネシアでは Ertiga などの MPV や Carry などの小型商用車を生産、インドネシアでは Ertiga など、インドネシアでの輸出も行っている。

【スズキ、ASEAN 域内における自動車生産・供給体制の概要】



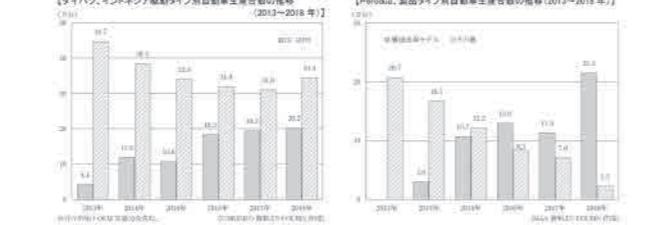
【スズキ、ASEAN 域内主要車種セグメント/モデル別自動車生産台数の推移(2013~2018年)】

Table showing Suzuki's production volume by segment and model from 2013 to 2018.

ダイハツ

一方、マレーシアでは、Perodua による構造改革モデルの新車投入を軸に事業展開が進められている。2017年11月には新型 Myvi(第3世代)が投入された。新型 Myvi は、Aria と Beza に続く、構造改革第3弾モデルである。

【ダイハツ、インドネシア/タイ別自動車生産台数の推移(2013~2018年)】



【ダイハツ/Perodua、ASEAN 域内主要車種別別自動車生産台数の推移(2013~2018年)】

Table showing Daihatsu/Perodua production volume by model from 2013 to 2018.

主要自動車部品メーカー101社のASEAN事業の動向!!

アイシングループ

【事業概要】 アイシングループは、アイシン精機やアイシン化成、アイシンエレクトロニクス、アドヴァンティアといった中核企業に加え、アイシングループが ASEAN 地域での生産拠点を構築している。

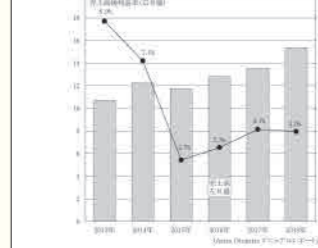
【アイシングループ、ASEAN 域内における自動車部品生産の状況(2018年4月時点)】

Map of ASEAN region with text boxes for 'タイ', 'インドネシア', and 'マレーシア' detailing production activities.

Astra Otoparts グループ

【事業概要】 インドネシア PT. Astra Otoparts Tbk. (AOP) は、Astra グループ傘下の自動車部品メーカーである。Astra グループの中核企業である Astra International が 80% 出資している(2018年12月時点)。

【Astra Otoparts、売上高・特別利益の推移(2013~2018年)】



【Astra Otoparts、セグメント別売上高の推移(2013~2018年)】

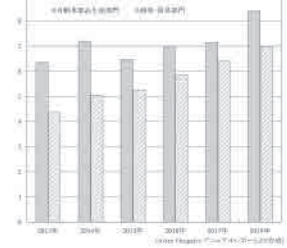


Table showing Astra Otoparts' production volume by segment from 2013 to 2018.